

英国 GARDEN  
ANSWERS  
提携誌

# My GARDEN

1997  
AUTUMN

マイガーデン

No.4

自分サイズの ¥1100  
ネイチャーライフを楽しむ

LANDSCAPE DESIGN 11月号別冊

特集

## 小さな庭の デザイン

ポストン  
ビーコン・ヒルの  
隠れた庭

浜美枝 さんに聞く

国立公園にとけこむ  
箱根の庭

庭園グッズ紀行 3

ヨークストンの  
故郷を訪ねて

ロビン・ウィリアムスのスクール開校

ロビン・ウィリアムスの  
ガーデンデザインの  
実践講座 第3回



▲ローザンヌ近郊にて。\*

爽やかな五月のある昼下がりのこと、いたずらっぽい表情の彼女に突然誘われたのである。

「私のシックレット・ガーデンにご一緒にいかが？」

自然の姿をそのまま残した、素敵なワイルドハニーサックルが、ゆつたりと大きな弧を描きながら咲き乱れる森の一角に案内された。むせるような緑のなか、先を歩く彼女の姿が一瞬にして叙情詩のような光景に見える。

彼女の庭に対する思いを尋ねてみた。「私にとっての庭？ そうね、まず第一に酸素を思いきり吸い込むことの

# 貝の中の眠れる真珠

マーガレット・ヒーブの作品

アーティストの庭に魅せられて

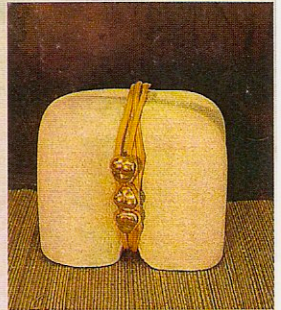


取材・文 ● 赤沢朱美  
(フラワーアーティスト)  
在・ジュネーブ

写真 ● LOUIS SCOSSA \* MARGUERITE HEEB



▲想い出のワイルドハニーサックルを摘んで。\*



▲彼女の手で削られた石のオブジェ。  
◀早朝のローザンヌ郊外。\*

できる素敵な場所。それゆえに心が和らぎ、バランスの取れた状態にもっていつてくれる大切な場所と言えるわね。夢を見たいと思えばそうさせてくれるし、ふっと瞑想の地にも化してくれる。それから、創造的エネルギーを引き出してくれる偉大なところ。絶えずインスピレーションを送り出してくれるのだから。自然のなかに身を置くとき、いつも彼らに尊敬と、親しみと、ある注意深さをもって接していきます。私が彼らに話しかけ、尋ねるほど、必ず彼らは誠実に、その答えを静かに、時にはハッと示してくれるのです。繰り返して訪れる四季、その息づかいのなから、多大なレッスンを受け続けています。構造、動き、ハーモニー、もつともつと多くのことを……」

緑のなかに見え隠れする彼女の姿は、植物と同じ波長の言葉が存在するように思える。

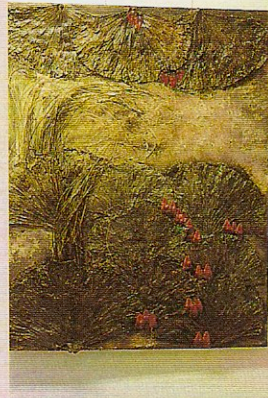
この魅力溢れる女性は、マーガレット・ヒーブ女史。レマン湖のほとりに広がる街、ジュネーブにアトリエを構える独創的なアーティストである。あるとき湖畔沿いの道すがら、何か見えない力によって、とても個性的なこのアトリエに行き着いた。今にしてみれば、作品のすべてに一瞬に魅せられ、そのまま吸い込まれるようにドアを押したように記憶する。「BONJOUR」、輝くばかりの笑顔の彼女が、エレガントな物腰で奥から現れた。前身はフラワーアーティストであった彼女は、並行して美術のトレーニングも積んだという。作品は、スイス国内は言うに及



●作品についてのお問い合わせ

TEL. FAX. 41-22-734-8018

Mme. AKEMI AKAZAWA Ave. de Budé 11 1202 Genève, Switzerland



▲ペインティング(タイのロータスの葉・ジュネーブのワイルドハーブ)。



▲交差彫刻(セリ科の木・インディアンマッシュルーム・ビーンズ)。



▲ペインティング(ウイスタリアキャップ・ホビー)。

◀St. Valentine's dayのためのアトリエの一角。

ばず、フランス、ドイツ、スペイン、日本、アメリカ、ひいては中東の地まで渡り、数多くの住宅、銀行、オフィスなどを飾ってきた。またある時期にはサウジアラビアの王室のウエディングも手掛けたという。

彼女の名刺を手にするると、MAR-  
GUERTE HEBB (LA NATURE EN  
BIJOUX (自然素材の作品)・SCULP-  
TURES (彫刻)・PEINTURES (絵画  
または絵画以外の手段による描写)・  
GRAVURES (彫版術)・MONOTYPES

(単刷版画)と、現在の創造物について記されている。

作品の主題は総じて、彼女のインスピレーションから生まれる。誌上ではアトリエにある自然素材が組み込まれたペインティングとオブジェの小品を紹介する形になったが、自然素材を用いて花を形づくった中品は、ノガ・ヒルトンのエントランスを飾っている。

とにかく、次々と吹き出すアイディア、背筋を伸ばして真剣な眼をしているかと思うと、次の瞬間にはいつものいたずらっぽい眼つきに変わっている。立ち上がっては、創作台の上で作品の一部に使う鉄パイプを、顔色ひとつ変えずに曲げ、そうかと思うと、しなやかな手つきでプロンドの髪に櫛を入れていく。

「マーガレットはパール(真珠)の意味もあるのよ」と、あるとき話をしてくれたことがある。なるほど、清楚なマーガレットの花も、美しく静かな光を放つパールにしても、みずみずしい彼女の感覚を彷彿とさせるように思える。マーガレット・ヒープ女史は、ヴォーグ誌によれば、貝の中の眠れる真珠としてずっと噂されていたという。

日々素敵な、お洒落に身を包み、作品をなし遂げる。ために絶えず分析し続ける洞察力とエネルギーな創作意欲は、ときにはユーモアをもって難問をかわしていく。

「TOUT EST POSSIBLE (すべては可能よ)」「柔らかく微笑みながら彼女はそう言い切った。